

2023年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース											
ベーシックレッスン2-a											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	下條慧			実務経験	有	職種	アレンジャー				
担当教員紹介											
日本工学院専門学校サウンドクリエイターコースを卒業後、アーティストへの楽曲提供や映像音楽の制作など歌モノからインストまで多ジャンルに渡り制作を行ってきた経歴がある。											
授業概要											
基本的なDAWソフト操作からサウンドメイキングまで修得し、またエフェクト効果などを習得することにより其々の作品のクオリティを上げていく事を目的とする。トータルバランスを視野に入れたサウンドメイキングを各学生が制作し2年次での卒業制作・デビューに向けての準備を行う。											
到達目標											
音楽制作に必要な基本的な操作・知識・技術を学ぶ。1年次は主に4リズムセクションへのサウンド効果の技術・知識の習得を目標とする。実際の生楽器にも触れることにより、DTMにおける作業にリアリティを持たせる。生楽器の音を知ることにより、DAW上で施すエフェクト処理に大きな違いが生れることを意識づける											
授業方法											
DAWの操作方法、基本概念、基本的な（ベーシックな）エフェクトの使い方をCubaseを使用して学んでいく。授業前半は講義・解説、後半はそれを実際にPCを使い実践していくスタイルで行う。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
スキルに個人差があるので、個別対応も行う。不明な点はその場で質問すること。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	エフェクトの種類と役割について										
第2回	コーラス・フランジャーエフェクターの効果と使用法の習得										
第3回	効果と使用法の習得										
第4回	ディレイエフェクターについての知識と設定の習得										
第5回	トレモロエフェクターについての知識と設定の習得										

2023年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース	
ベーシックレッスン 2-a	
第6回	ディストーションエフェクターについての知識と設定の習得
第7回	オーバードライブエフェクターについての知識と設定の習得
第8回	オクターバーエフェクターについての知識と設定の習得
第9回	ハーモナイザーエフェクターについての知識と設定の習得
第10回	外部プラグインに関する種類と使用方法
第11回	シンセサイザー基礎知識①アナログシンセサイザーの知識と効果
第12回	シンセサイザー基礎知識②デジタルシンセサイザーの知識と効果
第13回	シンセサイザー・エフェクトを総合的に使いこなす
第14回	ミックスについての基本概念 ミックス技術の習得
第15回	作品提出

2023年度 日本工学院専門学校											
2023年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース											
ベーシックレッスン2-b											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	田熊 知存			実務経験	有	職種	アレンジャー				
担当教員紹介											
<p>幼少の頃からエレクトーン・Jazzピアノを習い、コンクールで優秀な成績を収める。様々なアーティストのサポート演奏や楽曲提供を手がけており、幼い頃に影響を受けたDisney音楽のような歌心がありファンタジックな曲の制作を得意とする。</p>											
授業概要											
<p>譜面と言うツールを用いて他人と意思を疎通させる能力を身につける。具体的には</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 譜面を用いて様々な理論を学ぶための準備を行う。 2) 15回までの学習過程で、結局は基礎的な楽典を学ぶことになる。大局的な視点で音楽を捉えられるようになる。 3) 4 rhythm section に関するオーケストレーション・スコアリングを学ぶことにより、生・打ち込みに関わらず、アレンジ全般の基礎部分を身につける。 											
到達目標											
<p>ベーシックな楽器編成で歌モノをワンコーラス作ることを目標とする。 楽曲の構成（イントロ、Aメロ、Bメロ、サビ）をコード進行や楽器隊のアレンジで上手く表現出来るようになる。 自分で作成したリードシートを実際に音楽として形にしていくことで論理的な思考で曲を作れるようになる。 小さな目標を毎週クリアしていくことで問題を打破していく能力を身につける。 他の授業で分からなかった点やさらに発展した内容を補完できるとなお良い。</p>											
授業方法											
<p>1~15回で記譜法、16~30回で 4 rhythm アレンジを扱う。記譜法を学びつつ、ポピュラー音楽用語全般を広くレビューして行く。授業形態は講義中心となるが、課題量が多めなので、講師二人体制でそれらをチェックすることにより、徹底的な理解を目指す。後半アレンジセッションでは、各楽器約1回の講義の後、最低1週はその楽器に関する課題実習の時間を取り、その中で楽器の特性とスコアリングに対する理解を個別に指導して行く。</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢</p>											
履修上の注意											
<p>前期・後期とも単に「譜面が読める・書ける」ことを目標としているわけではなく、「読み手に余計な推理力を働かせることのない」譜面を作成することを常に念頭に置く。そのためには楽器に関する知識も必要であり、音楽理論も必要になってくる。譜面を書くことで「この先自分は何を学ぶべきか」が、学生一人ひとりに意識付けられるような指導を心がける。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	LIL について										
第2回	第16回の続きと、score 作成に伴う注意点を把握する										
第3回	syncopation をさらに細かく理解し、その際のリズムセッションの扱いを把握する。課題あり										
第4回	第18回課題のチェックとブラッシュアップ										
第5回	パーツの把握と記譜法の理解										

2023年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース	
ベーシックレッスン2-b	
第6回	パターンの実践
第7回	楽器の把握と記譜法の理解
第8回	ラインの作り方について
第9回	楽器の把握と記譜法の理解
第10回	打ち込みの実践
第11回	楽器の把握と記譜法の理解
第12回	打ち込みの実践
第13回	個別指導 1
第14回	個別指導 2

2023年度 日本工学院専門学校											
2023年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース											
ベーシックレッスン2-c											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	田熊知存			実務経験	有	職種	アレンジャー				
担当教員紹介											
<p>幼少の頃からエレクトーン・Jazzピアノを習い、コンクールで優秀な成績を収める。様々なアーティストのサポート演奏や楽曲提供を手がけており、幼い頃に影響を受けたDisney音楽のような歌心がありファンタジックな曲の制作を得意とする。</p>											
授業概要											
<p>音楽基礎クラス、音楽周辺クラスでの修得事項を統合し、作・編曲、トラック制作に必要なあらゆる事項を総合的に理解し分析することを目的とする。 1年次は4リズムセクションに関して徹底的に分析することにより修了制作における基礎を築くことになる。</p>											
到達目標											
<p>各セクションの分析をすることによりトータルな（4リズムセクションの）サウンドを構築できるようにすることを目標とする。 あらゆるジャンルにおける分析を行うことにより、独自のトラックを制作できるようになることを目標とする。</p>											
授業方法											
<p>基本情報を基に「それらの情報が音楽を形成する上でどのように機能しているか？」を楽器の実音体験、アンサンブル、他あらゆる観点から体感する。 音楽情報、音楽周辺情報、ノートテイクによる統合と活用。 レポート提出、プレゼンテーションによる具体的な実践も含まれる。</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢</p>											
履修上の注意											
<p>ノートの取り方を工夫する。毎回のノート記録を累積して情報の整理を行う。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	II-V-Iについて（メジャースケール）										
第2回	クリシェについて1										
第3回	クリシェについて2										
第4回	オンコードについて										
第5回	パッシングディミニッシュについて										

2023年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース	
ベーシックレッスン2-c	
第6回	パッシングディミニッシュについて2
第7回	トライアドのマイナースケールとII-V-I
第8回	セカンダリードミナントについて1
第9回	セカンダリードミナントについて2
第10回	メジャースケール4和音でのII-V-I
第11回	セカンダリードミナントについて1
第12回	セカンダリードミナントについて2
第13回	転調について
第14回	転調について2

2023年度 日本工学院専門学校																				
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース																				
ベーシックレッスン2-d																				
対象	1年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4									
担当教員	古峰拓真/川島基宏 杉山航平/須藤直也			実務 経験	有	職種	作編曲家													
担当教員紹介																				
アーティストやゲーム音楽、映像作品への楽曲提供に加え、楽器演奏やDJとしてステージに上がるなど各々が様々なジャンルにおいて活躍している。																				
授業概要																				
<p>楽曲の基本とも言える4リズムセクションの打ち込みを体得することで、打ち込みの基本について学ぶ。</p> <p>他の授業との連携により個々で作成したリードシートを元に打ち込みを行い、自分がどのような曲を譜面に書いていたのかを認識するとともに、実際に打ち込むことで分かるミスや違和感を基に譜面のアップグレードを行う。</p> <p>また基本的なDAWの操作に関しても楽曲制作を通じて学ぶ。</p> <p>基本は一人で作業することが多いので、そういった状況での問題を打破できる解決能力を養う。</p>																				
到達目標																				
<p>ベーシックな楽器編成で歌モノをワンコーラス作ることを目標とする。</p> <p>楽曲の構成（イントロ、Aメロ、Bメロ、サビ）をコード進行や楽器隊のアレンジで上手く表現出来るようになる。</p> <p>自分で作成したリードシートを実際に音楽として形にしていくことで論理的な思考で曲を作れるようになる。</p> <p>小さな目標を毎週クリアしていくことで問題を打破していく能力を身につける。</p> <p>他の授業で分からなかった点やさらに発展した内容を補完できるとなお良い。</p>																				
授業方法																				
録音実習では、DAW教室でのナレーション、ボーカル、ギター、ベース等楽器のレコーディングを経験する。DAWを使用した演習では、学生が録音したオーディオファイルを含め、DAW上で行うオーディオ編集、エフェクト処理等、オーディオファイルに関連する様々な事項を取得する。																				
成績評価方法																				
<table border="0"> <tr> <td>試験・課題</td> <td>70%</td> <td>課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価</td> </tr> <tr> <td>成果発表</td> <td>20%</td> <td>授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価</td> </tr> <tr> <td>平常点</td> <td>10%</td> <td>積極的な姿勢</td> </tr> </table>												試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価	成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価	平常点	10%	積極的な姿勢
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価																		
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価																		
平常点	10%	積極的な姿勢																		
履修上の注意																				
授業の際は筆記用具、ノート（五線紙もあることが望ましい）、データを記録する外付けHDD（SSD）、ヘッドフォン（必要に応じてミニステレオ→標準フォンプラグの変換）を毎回用意すること。毎回の授業内容はノートに採り、自身で繰り返し確認できるようにする。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。																				
教科書教材																				
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする																				
回数	授業計画																			
第1回	イントロ、A、B、C、Dメロについて学ぶ																			
第2回	イントロの作成方法や例を提示してイントロの作成手順について学ぶ																			
第3回	イントロを実際に作ってみる																			
第4回	Aメロの作り方や手法について学ぶ																			

第5回	Aメロを実際に作ってみる
2023年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/サウンドクリエイターコース	
ベーシックレッスン2-d	
第6回	Bメロの作り方や手法について学ぶ
第7回	Bメロを実際に作ってみる
第8回	サビの作り方や手法について学ぶ
第9回	サビを実際に作ってみる
第10回	Cメロの作り方や手法について学ぶ
第11回	Cメロを実際に作ってみる
第12回	2～11回で制作した曲をフルコーラスで完成させる。質問やアドバイスは随時受け付ける
第13回	2～11回で制作した曲をフルコーラスで完成させる。完成した曲のチェックを行う
第14回	最終確認を行う
第15回	完成した曲を発表する